

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和3年6月17日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、南部漁場で健康度の指標となる3.0%を下回った。
- ・貝殻真珠層の褐変が全海域で確認された。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度を示すa値の平均値は低かった。
- ・水温は平年並みに推移しているが、貝の状態が先月に比べて大きく悪化しており、へい死の発生も懸念されることから、貝の負担になるような作業については控えるようご注意ください。

2 調査結果一覧

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R2産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	3.3(6.2)	-1.4(-0.9)	0	60%
中部①	日中交雑貝	4.7(7.6)	-0.6(-1.9)	0	5%
中部②	日中交雑貝	5.9(3.6)	-0.1(-1.3)	0	55%
南部	日本貝	2.7(4.2)	0.3(-2.1)	0	10%
南部	日中交雑貝	2.5(4.3)	0.5(-1.5)	0	0%
平均値		3.8(5.2)	-0.3(-1.5)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日2日前を目処に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)をサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%):アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a値:閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。